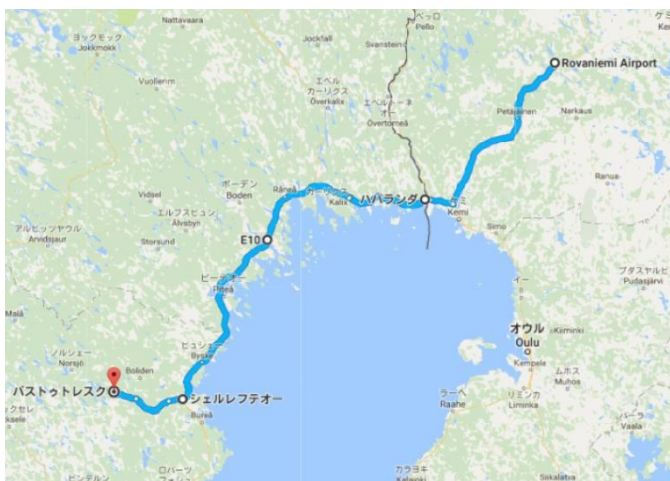


## 「北極圏旅行記 2017 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋  
～7/26 ロバニエミからスウェーデンへ～



今回借りた車は、トヨタ車。このあたりでは珍しいオートマ車で、しかもハイブリットなので、非常に運転しやすい。



今日のコースはご覧の通り、フィンランドから国境を越えて、スウェーデンの小さな街「バストウトレスク」まで。およそ440kmのドライブである。



日本ではレンタカーにカーナビがついているのは当たり前だが、北欧では追加料金が必要で、10日間では20000円近くになる。しかも小さくて、非常に「しょぼい」カーナビを「はいどうぞ」と手渡しされるので、今回は日本から持って行くことにした。

このカーナビは国内でも使えるものに、北欧の地図データを追加しておいた。出発前に、デモでちゃんと北欧の地図が表示されることを確認しておいた。実際にフィンランドで電源を入れてみたら、日本語表示なのに、ロバニエミの地図に現在地が表示されるという、非常に珍しい画面になった。今回は初めて走る道が多いので、「自分の現在地がわかる」というのは、大変心強いことである。



フィンランドの国道は整備が良く、夏の間は一部制限速度が120km/hという場所もある。キャンピングカーが非常に多いのも特徴だ。



幹線国道の両脇には、金属製のネットが延々と設置されている。これは、トナカイやヘラジカなどの大型野生動物が道に飛び出さないための防護柵である。実際にぶつかると、車のほうがダメージが多い。



これは「ここからスウェーデンです」という標識である。国境の検問所やパスポートのチェックは、何もない。埼玉県から群馬県に入ったようなものである。



スウェーデンに入ると、少し道が狭くなる。両側で3車線で、2車線分を上り線と下り線で、交互に分け合っている感じだ。



途中、灯台のあるちょっとしたリゾート地のようなところに立ち寄った。給水塔のようなものが灯台だ。白樺と灯台の組み合わせは珍しい。



ここは、スカンジナビア半島がぐるりと取り囲む「ボスニア湾」に面している。私は飛行機からボスニア湾を見たことはあったが、地上から見たのははじめてだ。



ここには、かつて漁村にあった古いログハウスが大切に保管され、一部はカフェやショップになっている。コテージとして泊れる棟もあるようだ。



セルフテオーという大きな街を過ぎると、のどかな農村地帯に入る。今日の目的も近い。